

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: ナトリウム, 塊状

SDS No.: 70851-2

推奨用途及び使用上の制限

試験研究用

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称: キシダ化学株式会社

住所: 大阪市中央区本町橋3-1

担当部署: 化学品安全管理統括部

電話番号: (06)6946-8061

FAX: (06)6946-1607

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

水反応可燃性化学品: 区分 1

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性: 区分 1A

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 1

(注) 記載なきGHS分類区分: 区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

水に触れると自然発火するおそれのある可燃性ガスを発生

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

注意書き

安全対策

水と接触させないこと。

湿気を遮断し、不活性ガス/適切な液体又はガス下で取り扱い保管すること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

火災の場合: 指定された消火剤を使用すること。

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合: 固着していない粒子を皮膚から払いのけ、冷たい水に浸すこと。

皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

**貯蔵**

乾燥した場所で密閉容器に保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

特定の物理的及び化学的危険性

水と接触した場合に、発火または可燃性ガスが発生する恐れがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

化学物質

成分名	成分名[別名]	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	化審法
ナトリウム	-	99(min)	7440-23-5	-	-

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

成分情報補足

ケロシン(CAS No.8008-20-6)に浸漬している。危険有害性等については、ケロシンのSDSを参照。

ケロシン中にキシレン $\leq 1.4\%$ (CAS No.1330-20-7)、1,2,4-トリメチルベンゼン $\leq 1.7\%$ (CAS No.95-63-6)を含む。**危険有害成分**

毒物及び劇物取締法「劇物」該当成分

ナトリウム

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

ケロシン, キシレン, 1,2,4-トリメチルベンゼン

ナトリウム(令和7年4月1日施行)

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

ケロシン, キシレン, 1,2,4-トリメチルベンゼン

ナトリウム(令和7年4月1日施行)

化管法(令和5年3月31日まで有効)「第1種指定化学物質」該当成分

キシレン, 1,2,4-トリメチルベンゼン

化管法(令和5年4月1日施行)「第1種指定化学物質」該当成分

キシレン, 1,2,4-トリメチルベンゼン

4. 応急措置**応急措置の記述****一般的な措置**

直ちに医師に連絡すること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

皮膚に付着した場合:固着していない粒子を皮膚から払いのけ、冷たい水に浸すこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は粉末、乾燥砂を使用すること。

使ってはならない消火剤

屋内消火栓設備又は屋外消火栓設備

スプリンクラー設備

水蒸気消火設備又は水噴霧消火設備

泡消火設備

不活性ガス消火設備

ハロゲン化物消火設備

粉末消火設備-りん酸塩類等を使用するもの

棒状の水を放射する消火器

霧状の水を放射する消火器

棒状の強化液を放射する消火器

霧状の強化液を放射する消火器

泡を放射する消火器

二酸化炭素を放射する消火器

ハロゲン化物を放射する消火器

消火粉末を放射する消火器-りん酸塩類等を使用するもの

水バケツ又は水槽

※消防法危険物:危険物の規制に関する政令別表第5(第20条関係) 参照

特有の危険有害性

加熱すると容器が爆発するおそれがある。

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

防火服又は防災服を着用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

掃き集めて、容器に回収する。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)



熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
水と接触させないこと。

(局所排気、全体換気)

排気/換気設備を設ける。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

湿気を遮断し、不活性ガス/適切な液体又はガス下で取り扱い保管すること。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

接触回避

「10.安定性及び反応性」参照

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。

乾燥した場所で密閉容器に保管すること。

直射日光を避け、換気の良い涼しい場所で保管する。

施錠して保管すること。

安全な容器包装材料

ガラス

ステンレス鋼

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度

(キシレン)

作業環境評価基準(2004) $\leq 50\text{ppm}$

許容濃度

(キシレン)

日本産衛学会(2001) 50ppm ; $217\text{mg}/\text{m}^3$

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

日本産衛学会(1984) 25ppm ; $120\text{mg}/\text{m}^3$

(ケロシン)

ACGIH(2003) TWA: $200\text{mg}/\text{m}^3(\text{P})$ (皮膚及び上気道刺激; 中枢神経系障害)

(キシレン)

ACGIH(2021) TWA: 20ppm (眼及び上気道刺激; 血液学的影響; 聴覚毒性; 中枢神経系障害)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

ACGIH(2021) TWA: 10ppm (中枢神経系障害, 血液学的影響)

特記事項

(ケロシン)

皮膚吸収

(キシレン)

聴力障害

OSHA-PEL

(キシレン)

TWA: 100ppm , $435\text{mg}/\text{m}^3$

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

洗眼設備を設ける。



手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具**呼吸用保護具**

呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

9. 物理的及び化学的性質**基本的な物理的及び化学的性質に関する情報**

物理状態：固体

色：銀色～灰色

臭い：無臭

融点/凝固点：97.8℃

沸点又は初留点：880℃

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点データなし

自然発火点：120 through 125℃

分解温度データなし

pHデータなし

動粘性率データなし

溶解度：

水に対する溶解度：反応する

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧：negligible (20℃)

密度及び/又は相対密度：0.97g/cm³

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性**反応性**

水と激しく反応する。

化学的安定性

空気中の酸素、炭酸ガス及び湿度によりおこされやすい。

危険有害反応可能性

水と激しく反応する。火災や爆発の危険を生じる。空気および水分の影響下で、急速に分解する。引火性/爆発性ガス(水素)を生じる。(ICSC 0717)

避けるべき条件

混触危険物質との接触。

火源との接触。

混触危険物質

水

危険有害な分解生成物

水素

11. 有害性情報**毒性学的影響に関する情報****急性毒性**



急性毒性(経口)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(キシレン)

rat LD50=3500 - 8800mg/kg (NITE有害性評価書, 2008)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

female rat LD50=3280mg/kg (REACH登録情報, Accessed Aug. 2021)

急性毒性(経皮)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(キシレン)

rabbit LD50=1700mg/kg (EPA Pesticide, 2005)

急性毒性(吸入)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(キシレン)

vapor: rat LC50=6350-6700ppm/4hr (NITE有害性評価書, 2008)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

mist: rat LC50=18000mg/m³/4hr (18mg/L/4hr) (MOE 初期評価, 2009)

労働基準法: 疾病化学物質

キシレン

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(ナトリウム)

腐食性 (HSDB, 2005)

(ケロシン)

ヒト 刺激性 (ACGIH 7th, 2001 et al)

(キシレン)

ラビット 紅斑、浮腫、壊死 (NITE有害性評価書, 2008)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

皮膚刺激性 (MOE 初期評価, 2009)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(ナトリウム)

重篤な損傷性 (HSDB, 2005)

(キシレン)

ラビット 軽度から中等度の刺激性 (NITE有害性評価書, 2008)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

眼刺激性 (MOE 初期評価, 2009)

呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

[IARC]

(キシレン)

Group 3: ヒトに対する発がん性については分類できない

[ACGIH]

(ケロシン)

A3(as total hydrocarbon vapor)(2003): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連

は不明

(キシレン)

A4(2021): ヒト発がん性因子として分類できない



(1,2,4-トリメチルベンゼン)
A4(2021): ヒト発がん性因子として分類できない
生殖毒性データなし
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[成分データ]
[区分3(気道刺激性)]
[日本公表根拠データ]
(ケロシン)
気道刺激性 (ACGIH 7th, 2001)
(1,2,4-トリメチルベンゼン)
気道刺激性 (ACGIH, 2001)
[区分3(麻酔作用)]
[日本公表根拠データ]
(ケロシン)
麻酔作用 (ACGIH 7th, 2001)
(キシレン)
麻酔作用 (NITE有害性評価書, 2008)
(1,2,4-トリメチルベンゼン)
麻酔作用 (US AEGL, 2012 et al.)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし
誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(ナトリウム)

甲殻類(オオミジンコ) EC50=1640mg/L/48hr (Aquire, 2003)

(キシレン)

魚類(ニジマス) LC50=3.3mg/L/96hr (NITE 初期リスク評価書, 2005)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

魚類(ファットヘッドミノー) LC50=7.72mg/L/96hr (優先評価化学物質のリスク評価, 2015)

水溶解度

(ナトリウム)

反応する (Merk 13th, 2001)

(ケロシン)

溶けない (ICSC, 1998)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

非常に溶けにくい (ICSC, 2002)

残留性・分解性

[成分データ]

(キシレン)

急速分解性なし (BODによる分解度: 39% (NITE 初期リスク評価書, 2005))

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

急速分解性なし (BODによる28日間分解度: 平均8.7% (METI既存点検結果, 1980))

生体蓄積性

[成分データ]

(キシレン)

log Pow=3.16 (PHYSPROP DB, 2005)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)



log Pow=3.8 (ICSC, 2002)
土壌中の移動性
土壌中の移動性データなし
他の有害影響
オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意**国連番号、国連分類**

国連番号またはID番号 : 1428
正式輸送名 :
ナトリウム
分類または区分 : 4.3
容器等級 : I
指針番号 : 138

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号またはID番号 : 1428
正式輸送名 :
ナトリウム
分類または区分 : 4.3
容器等級 : I

IATA (航空危険物規則書)

国連番号またはID番号 : 1428
正式輸送名 :
ナトリウム
分類または区分 : 4.3
危険性ラベル : Dang. when wet
容器等級 : I
特別規定番号 : A1

環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当) : 非該当

MARPOL 73/78 付属書II 及び IBCコードによるばら積み輸送される液体物質

有害液体物質 (X類)
1,2,4-トリメチルベンゼン
有害液体物質 (Y類)
キシレン

国内規制がある場合の規制情報**船舶安全法**

可燃性物質類 禁水性物質 分類4 区分4.3

航空法

可燃性物質類 水反応可燃性物質 分類4 区分4.3

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法**劇物 (第2条別表2)**

ナトリウム (法令番号 62)

**労働安全衛生法**

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

キシレン(別表第9の136); ケロシン(別表第9の380); 1,2,4-トリメチルベンゼン(別表第9の404)

ナトリウム(別表第9, 令和7年4月1日施行)

名称通知危険/有害物

キシレン(別表第9の136); ケロシン(別表第9の380); 1,2,4-トリメチルベンゼン(別表第9の404)

ナトリウム(別表第9, 令和7年4月1日施行)

別表第1 危険物(第1条、第6条、第9条の3関係)

危険物・発火性の物

化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年3月31日まで有効)

第1種指定化学物質

キシレン[キシレン(1-080)];

1,2,4-トリメチルベンゼン[1,2,4-トリメチルベンゼン(1-296)]

化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年4月1日施行)

第1種指定化学物質

キシレン[キシレン(管理番号080)];

トリメチルベンゼン[1,2,4-トリメチルベンゼン(管理番号691)]

消防法

危険物

第3類 自然発火性物質及び禁水性物質 危険等級 I(指定数量 10kg)

化審法

優先評価化学物質

1,2,4-トリメチルベンゼン; キシレン

悪臭防止法

キシレン

大気汚染防止法

揮発性有機化合物(VOC) 法第2条第4項

キシレン; 1,2,4-トリメチルベンゼン

有害大気汚染物質

キシレン

16. その他の情報**参考文献及び情報源**

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN

IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)

IATA 航空危険物規則書 第62版(2021年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2022 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2021 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)

厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)

Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(NITE 令和3年度(2021



KISHIDA

ナトリウム, 塊状, 70851-2, 2023/03/17

10/10

年度))です。